

健康増進計画・食育推進計画事業評価（後期計画：平成29年度～令和3年度）

ストラクチャー：構築、構造、戦略、組み立て
 プロセス：過程、経過、手順
 アウトプット：出力、生み出すこと、発信する、行動する
 アウトカム：結果、成果、効果

資料 1

ライフ ステージ	事業名（施策名）	事業概要	事業段階	ストラクチャー	プロセス	アウトプット	アウトカム	担当者の負担感	所管課評価	問題点・課題	総合評価 （推進委員会）
			1. 未実施 2. 計画検討中 3. 事業実施中 4. 事業終了	事業推進組織が確立できたか 1. ほとんどできていない 2. 確立に向けて努力中 3. 大体できた 4. 強固な組織ができています	事業がうまく動いているか 1.ほとんど動いていない 2. 一部しか実施できていない 3. 大体動くようにはなっている 4. とてもうまく動いている	【参加型の事業】事業への町民・団体の参加者はどうか 1. ほとんどいない 2. とても少ない 3. ある程度いる 4. とても多い 【提供型の事業】事業の実施頻度はどうか 1. 年1回以下 2. とても少ない 3. ある程度やっている 4. とても多い	事業に対する参加者・町民の満足度 1. 把握できていない 2. あまり高くない 3. まあまあ高い 4. とても高い	1. 通常業務に支障をきたすほど負担感が大きい 2. ある程度負担感が大きい 3. 負担感はあるが何とか対応できる 4. あまり負担感はない	1. 事業を終了すべき 2. 事業内容を変更すべき 3. 他の事業と統合すべき 4. そのまま継続実施すべき	現状で障がいとなっている事項、計画当初と状況が変化して見直しすべき事項、その他今後の継続の障がい、解決すべき課題などを記述	1. 事業を終了すべき 2. 事業内容を変更すべき 3. 他の事業と統合すべき 4. そのまま継続実施すべき
乳幼児期	親子が集う交流の場「わきあいひろば」の利用促進・活用	家にこもりがちな0～1歳児の保護者を中心とした乳幼児のいる家庭に対し、子どもの遊び場となり、親子で友達づくりができる場となるよう、利用を促進することで、保護者の精神的ストレスの軽減を図る。結果として乳幼児の健康増進に寄与する。	4 ただし、コロナのためH30年度から開催を見合わせている	2	3 ただし、コロナのためH30年度から開催を見合わせている	3	4 ただし、コロナのためH30年度から開催を見合わせている	3	2	新型コロナウイルス感染症予防のため平成30年度途中より「わきあいひろば」休止中 ※子育て支援センターの保育士を配置し、支援センターとの連携強化を図っている。 今後も子育て支援センターの保育士を中心に、親子の交流の場である子育て支援センターの利用や子育てサークルとの連携を図っていききたい。	
学童期 思春期	なかいっ子わくわく食学び大作戦	偏食や食べず嫌いの子どもなくし、実践を通して栄養バランスについて学ぶことで、子どもの健康な身体づくりに寄与する。 ①親子クッキング ②電子レンジdeクッキング ③コンテスト ④食育カルタ	①4 ②4 ③4 ④3	①4 ②4 ③4 ④4	①4 ②4 ③4 ④2	①4 ②4 ③- ④-	①4 ②4 ③- ④-	①4 ②4 ③- ④3	①4 ②4 ③- ④1	コロナ禍で調理実習含む事業開催方法が課題。食育カルタは、小学校内での取組はカリキュラムの関係で難しく、町子ども会の集まりと連携している。今後授業等に組込む内容は難しいと思われる。引き続き簡単に作れて、栄養バランスの良いメニュー等を検討していきたい。	
青壮年期	禁煙応援 (^o^)/ 作戦	禁煙したい人や喫煙本数を減らしたい人、禁煙を考え始めている人に対し、適切な応援をすることにより禁煙を実現し、喫煙による健康への害を防ぐ。	4	3	3 (禁煙相談) 参加1 (チラシ・ポスター) 提供3	1	3	2	今後さらに禁煙者を増やしていけるよう、R3住民アンケートの禁煙理由として意見の多かった、「医師に言われたから（高齢者）」、「子ができたから（青壮年）」がという点に着目したアプローチ方法を検討していきたい。		
	おとなの体力up事業	体力測定会を開催し自分の現状の体力・運動機能を知る。自分に合った効果的な運動の仕方がわかることで、運動に興味を持ち、継続した運動習慣となることを期待する。また、町事業や町内のスポーツ団体、運動グループを紹介することにより、様々なライフスタイルに合わせた運動方法を選択できるようになる。	4	3	3	2	3	2	参加者アンケートより「体力測定後、運動しなくては、という気持ちになる」と意見があり、『運動しよう』という住民を増やしていくためにも体力測定は今後も継続したい。 しかし、体力測定会単独開催では人が集まらないため、人の集まる場所での開催や気軽に参加できる等、実施方法を変更していきたい。		
	元気食でおとなの健康づくり	自分の食に関する問題意識が低いため、簡単で安心安全な調理法の普及をさせることにより、食への意識を喚起し健康づくりをする。 ①炊飯器クッキング ②減塩講話 ③栄養バランス食事のとり方チラシ配布	①4 ②4 ③4	①4 ②4 ③4	①3 ②3 ③4	①3 ②3 ③4	①3 ②3 ③3	①4 ②4 ③4	①4 ②4 ③4	既存事業と連携し実施しているものが殆どだが、調理実習を含む事業開催方法が今後課題。減塩啓発は集団健診の待ち時間の有効活用を図りたい。	

	働く世代のこころの健康づくり	疲労度やストレス状態の自己チェック、普及啓発活動、ストレスなどに対する相談を行う。	4	3	3	3	未把握	4	2	この事業で作成したチェックリストがどの程度活用されたか把握ができない。 現在は様々な相談窓口や相談機会が増えたことも影響したのか、健康相談利用者はいなかった。 自己チェックだけに限らず、ストレスとの付き合い方や睡眠などを含めた情報提供を既存事業を活用しながら継続実施が必要と考える。
--	----------------	---	---	---	---	---	-----	---	---	---

ライフ ステージ	事業名（施策名）	事業概要	事業段階	ストラクチャー	プロセス	アウトプット	アウトカム	担当者の負担感	所管課評価	問題点・課題	総合評価 (推進委員会)
			1. 未実施 2. 計画検討中 3. 事業実施中 4. 事業終了	事業推進組織が確立できたか 1. ほとんどできていない 2. 確立に向けて努力中 3. 大体できた 4. 強固な組織ができている	事業がうまく動いているか 1. ほとんど動いていない 2. 一部しか実施できていない 3. 大体動くようにはなっている 4. とてもうまく動いている	【参加型の事業】事業への町民・団体の参加者はどうか 1. ほとんどいない 2. とても少ない 3. ある程度いる 4. とても多い 【提供型の事業】事業の実施頻度はどうか 1. 年1回以下 2. とても少ない 3. ある程度やっている 4. とても多い	事業に対する参加者・町民の満足度 1. 把握できていない 2. あまり高くない 3. まあまあ高い 4. とても高い	1. 通常業務に支障をきたすほど負担感が大きい 2. ある程度負担感が大きい 3. 負担感はあるが何とか対応できる 4. あまり負担感はない	1. 事業を終了すべき 2. 事業内容を変更すべき 3. 他の事業と統合すべき 4. そのまま継続実施すべき	現状で障がいとなっている事項、計画当初と状況が変化して見直すべき事項、その他今後の継続の障がい、解決すべき課題などを記述	1. 事業を終了すべき 2. 事業内容を変更すべき 3. 他の事業と統合すべき 4. そのまま継続実施すべき
中年期	働き盛りのウォーキングのすすめ	ウォーキングのきっかけ作りのため、歩数記録帳・リーフレットなどの配布、ウォーキング講習会の土・日開催を行い、継続できるようにするためのウォーキングポイント制度などを実施する。	4	3	3	2	3	3	2	講習会に参加した方の満足度はおおむね良かったが、土日開催しても参加者数が少ない。取り組み途中から、生涯学習課においても応用編的かつイベント要素のあるウォーキング事業を実施するようになった。 歩数記録も現在はスマートフォン等の活用が増え、記録帳のニーズも少ない実感である。取り組みきっかけと継続できるしきみの支援は継続する必要があり、関係機関や社会資源、既存事業などと連携を図り取り組む。	
	1日1体操！	多くの人が知っている体操【ラジオ体操】を活用し、町民が体操に取り組みやすい環境づくりを推進する。推進にあたっては、地域の会場で体操会の開催や、その支援を行うサポーターの要請を図る。	4	3	3	3	3	3	4	町民に広く普及を図りたいが、サポーターや地域の会場の拡充・拡大が課題。今後は、参加者拡大に向けた事業PR方法について、サポーターとともに検討し、周知を図っていく。	
	健診を受けてポイントゲット！	働く世代の健診受診と体を動かすことに“お得感”を持って取り組めるよう、ポイント制度を導入し、受診率の向上と運動習慣のある人の増加を図る。	4	3	3	3	3	3	4	事業参加者の一部が固定化している。事業参加者の拡大を図るのであれば、周知方法や交換賞品の検討などが必要。特に、若い世代の利用者増加を図るため、子育て世代向けのPR方法の検討を要する。 事業の都度ポイントカードやシールの配布を担当者が行う必要があり、交付方法の簡素化も検討の余地がある。	
	健康情報発信事業	健康づくりに関する事業の方法を様々な媒体で提供し、健康増進情報に触れる機会を増やすことにより、健康づくりの意識を高める。	4	3	3	3	未把握	3	1	R4年度より町HPが刷新されたことに伴って健康づくり関連事業も改めて更新したが、様式変更に対応しきれしていない。今後さらに掲載ページを充実させる必要がある。 また、SNSの活用や、タウン紙など町広報やHP、事業ごとのチラシ以外の手法をより活用できる余地があると考え。 ただ、この取り組みは計画の有無に関わらず、すべての事業において取り組むべき内容である。	

高齢期	『シニア入門リーフレット 配布・シニア入門講座』	高齢期における社会での役割変化等に 伴う生活リズムの変化による健康問題 に対し、新しい生活スタイルの受容を 促進するため、高齢期の各種情報入手 機会と社会参加機会の提供を図り、健 康増進を図る。	4	2	2	1	1	2	2	<p>高齢期の健康課題（特に社会活動の参加機会 減少が健康に及ぼす影響）について普及啓発・ 注意喚起が必要。</p> <p>当初は、年齢到達した高齢者を対象とした事 業として実施を図ってきたが、高齢者が社会参 加機会を持つことの必要性を発信していくた め、高齢期前後の年代を対象に事業展開を図 る。</p>	
-----	-----------------------------	--	---	---	---	---	---	---	---	---	--